

九、金銀庫の幹部若出庫を遂して金本中央委員長
代取土松平一郎に請付方依職を決議しての承諾を得る
と共に金銀庫より徳力應援を受くるに至り。
と、留社側状況

争議中に多数の金本關係者ありて漸次紛糾を加へ解決
困難なるを察知したる留社側は八日早朝より社長自宅に
て急夜警備を施す。

十二、解決條件

争議より白紙一任にて留社依頼を受けたる松平一郎は
八日午後十一時前夜留社中の社長宅を訪問し留社側出
の事情を述べたる留社側も此際岡氏の斡旋に依り解決を
圖らんとして其の留社に賛成を致したので致し争議中の長
水警備を撤去したる結果留社側の請歩により左の通解決

す

解決條件

一、留社側の分

一、留社資金は切下りの意思なきも將來留社の受託附録且
は業績の如何に依りては切下りの止むを得ざることあ
るべし

二、留社利益金は留社を成りす支拂ふ等とし損失の場合
は留社に補償せず

三、留社利益金は留社の上支拂をなす事とす

四、留社留社員に對する日給は將來考慮す

五、留社手賃は一ヶ月に付日給を支給す

六、二ヶ年以上の留社者にして台議の上退職するも台議
手賃として一ヶ月に付二日分を支給す